

● 地域の特徴を生かした農林水産業

神奈川県では、地域の特徴を生かした多彩な農林水産業が営まれています。

県央地区

都市化が進む中でも豊かな森林と田園風景が残り、消費地に立地する特性を生かして、米、大豆、野菜、鶏卵など、いろいろな農産物が生産され、直売所などで地元の住民に供給されています。

最近では、都市農業や森林の大切さを理解してもらうようなイベントや体験農園なども数多く開かれ、生産者と都市住民の交流も盛んです。



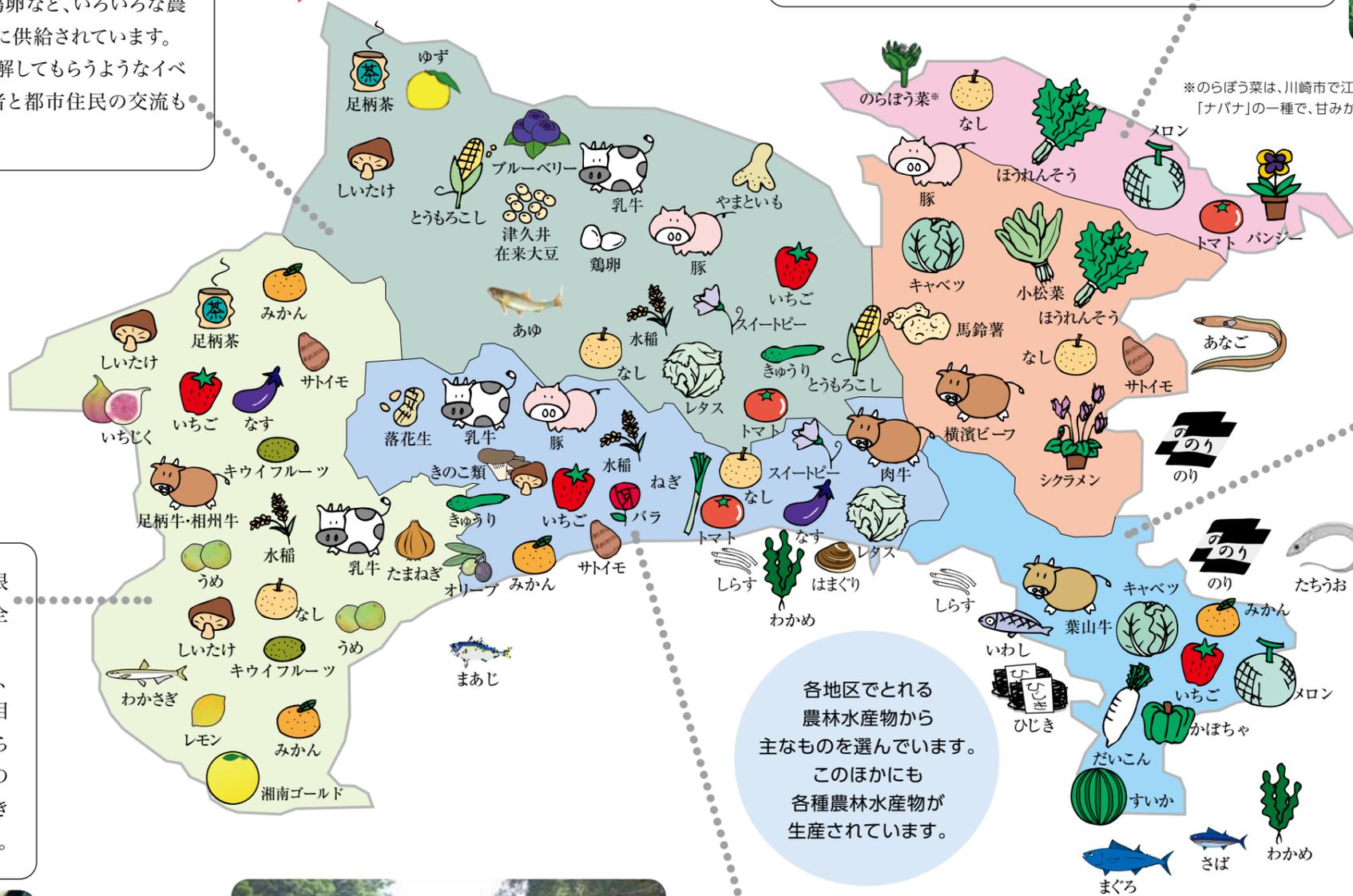
県西地区

海・山・川の自然豊かな地域で、丹沢、箱根、外輪山の森林地帯は水源かん養や景観保全の役割を果たしています。

米、みかん、キウイフルーツ、なし、うめ、茶、しいたけ、牛乳・牛肉など多彩な農産物や、相模湾からまあじなどの新鮮な水産物がもたらされており、その味覚を求めて訪れる多くの観光客もいます。特に本県で育成したかんきつの「湘南ゴールド」は特産品となっています。



県内農林水産物イラストマップ



横浜川崎地区

県内で最も都市化の進んだ地域ですが、多様な農産物の生産が行われており、大消費地に立地する利点を生かし、市場出荷の他、農協や個人農家による直売が盛んです。また、観光農園、農作業体験農園など県民参加型農業経営が行われています。

東京湾では底びき網やあなご筒などの漁業や、のりなどの海藻養殖も盛んに行われています。



※のらぼう菜は、川崎市で江戸時代から栽培されている「ナバナ」の一種で、甘みが強いのが特徴です。

横須賀三浦地区

温暖な気候を生かし、三浦半島の台地に広がる畑作地帯でだいこんやキャベツなどが栽培され、本県を代表する全国有数の露地野菜産地です。

また、遠洋、沖合、沿岸漁業がともに盛んで、全国トップクラスの生産額を誇る三崎漁港をはじめ、きんめだい、さばなどを水揚げする大小の港があり、わかめなどの海藻養殖・しらす加工も盛んです。畜産では、葉山牛が有名です。



湘南地区

トマトやいちご、花きなどの施設園芸、果樹、畜産等の多様な農業経営が見られ、水系に恵まれ、米は県内の主産地になっており、露地野菜の生産も盛んです。しいたけやひらたけなど、きのこ類の生産も盛んで、山間部では、間伐材の搬出が活発に行われ、相模湾沿岸部では、わかめの養殖や、しらす漁などが行われています。

各所に直売所が置かれ、朝市や観光農園、観光地引網などの取組も盛んで、新鮮な農林水産物が食卓に届けられています。